

CCS プログラミング教育研修会

大好評のうちに終了できました！感謝申し上げます！

2019 年度、全道各地 13 会場で研修会を実施しました！



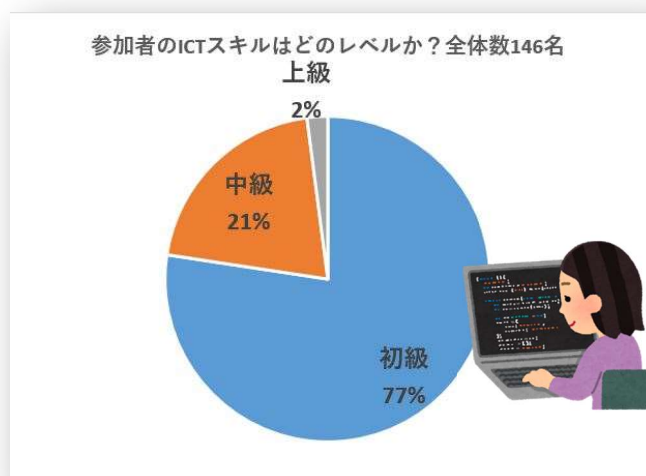
◆弊社の 2019 年度研修会が終了いたしました。希望された自治体様、学校様の要望を踏まえ、開催することができました。2019 年 4 月、根室管内羅臼町様から始まった研修会は、後志・釧路・オホーツク管内、全部で 13 の会場で、210 名の教職員・教育委員会職員の方々が参加してくださいました。毎回、研修会終了後アンケートを実施し、その結果から研修会が少しでも、参加者の皆様方にとって有意義なものとなるよう改善を積み重ねてきました。結果、参加者の皆様方から好評を得ることができました。

◆ただ、残念だったのは 2 月 27 日に開催予定だった寿都町様におけるプログラミング教育研修会が、今回の新型コロナウイルス感染拡大に伴う対応で、できなかったことです。参加予定だった 30 名の皆様方、並びに弊社に声をかけてくださった寿都町教育委員会様に変な申し訳ないことをしたと思います。新型コロナウイルスがある程度終息し、開催目途が立った時には是非声をかけてくだされば、優先的に対応していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

実際に体験しながら活用できるようになる研修がとても大切です！

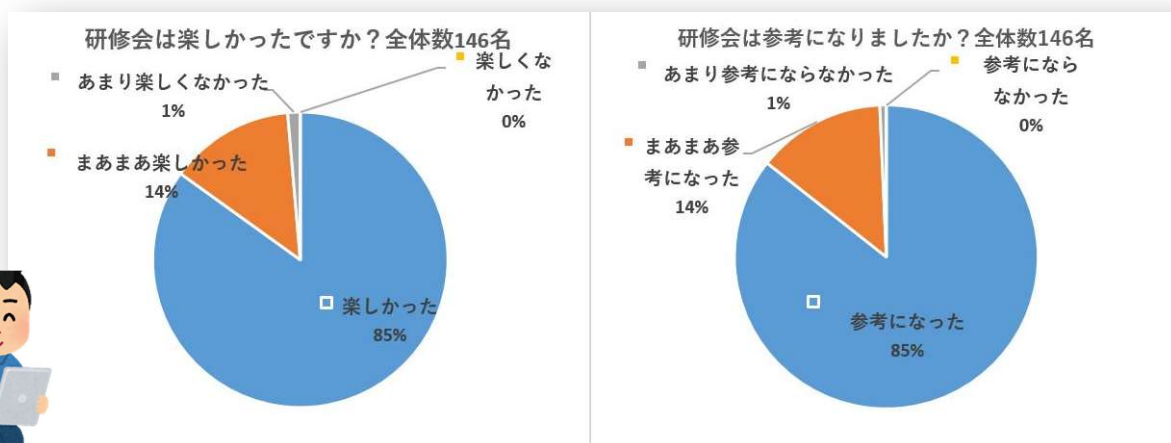
◆210 名の参加者のうち、146 名から回答を得ることができました。(初回の羅臼町様は、報告会も兼ねていましたのでアンケートは取っていません。また、諸事情で途中で退出された方もいます)アンケート方法は、Google フォームを利用して、研修会終了後すぐに iPad で入力し、集計しました。設問は 5 問です。

◆最初の設問は「あなたの ICT レベルはどのくらいですか？」というもので「初級」「中級」「上級」から選んでいただきました。この設問は、客観的な基準を示して選択してもらったものではありません。お一人お一人の、あくまで感覚的・主観的なものによります。それでもある程度の傾向は読み取れると判断しております。



◆結果は右の円グラフのようになりました。77% もの方々が「自分は初級レベルだ」と考えていることがわかります。学校現場で先生方は、日常的にパソコンは使っています。ですから決してパソコンを使えないということではないと思われます。学級通信や提案文書等を作成するために Word のような文書作成ソフト、メールの送受信、教材研究等のために Web 閲覧ソフト等を使用し、日常的には iPhone などのようなスマートフォンを利用していると思われます。ですから、全く使えないというのではなく、授業の中で使うことや何かトラブルがあったときに対応できなかったり、ソフト・アプリ等を使っては難しいことはできないと思われるのでしょうか。これからのプログラミング教育や ICT を活用した教育を推進していくことを考えた時、まず 77% もの先生方が、「自分は初級レベルだ」と思っているということ踏まえた取り組みが必要になると思われます。ICT 機器を学校・教室に導入すれば、先生方は即使ってくれるということは、まず考えられないと思っていた方がいいでしょう。それではどうしたらいいのかという問題です。やはり、どんなに扱いやすい機器だとしても、導入前研修や導入後の研修が必要となります。しかしながら、現在学校現場の多忙化・働き方改革という課題がありますので、研修の時間をそう簡単には取れないと思います。それでなくても、小学校では新学習指導要領の完全実施の年度で教科書も大幅に変わりますから、なおのこと ICT に関する研修等の時間を確保することは難しいと思われます。そこで、狙いを絞った効率的な研修会や即役立つ研修会、またはネットや等を活用した研修会が必要だと思われます。

CCS の開催してきたプログラミング研修会は楽しく参考になります！



◆研修会の満足度を2つの観点でデータをとってきました。一つは「研修会は楽しかったですか」、もう一つが「研修会は参考になりましたか」というものです。これらの質問に「楽しかった(参考になった)」「まあまあ楽しかった(まあまあ参考になった)」「あまり楽しくなかった(あまり参考にならなかった)」「楽しくなかった(参考にならなかった)」の4つの選択肢から選んでいただきました。結果、「楽しかった(参考になった)」と答えてくださった方は、どちらの項目も85%にも上ります。また、「まあまあ楽しかった(まあまあ参考になった)」と肯定的に答えてくださった方を加えると99%にもなります。今年度実施してきた研修会に対する満足度が大変高いことがわかります。その好結果だった要因は、やはり実際にタブレットのiPadやプログラミング教材であるマイクロビットを実際を使用して体験していただいたということが大きかったのではないかと思います。今後とも引き続き体験型の研修会をしていくことの大切さを痛感します。

次年度も「明日の授業に役立つ」研修会を開催していきます！

◆「今後、どのような研修に参加してみたいですか」という質問もありました。これに対する答え方は、こちらで選択肢を用意し、複数選択してもOKということでももらいました。結果は、以下のグラフのようになっています。「プログラミング教育の実践例」「プログラミング教育の授業づくりのポイント」「授業におけるICTの活用法」「さまざまなプログラミング教材の操作方法」が上位に来ました。この回答からわかることは、「現場ですぐに役に立つこと」を期待されているということです。特に「明日の授業に使える」ということを望んでいます。逆を言えば、プログラミング教育やICTを活用した授業をどのようにしたらよいのか、不安や悩みを抱えているということでもあります。

【質問】 今後どのような研修に参加してみたいですか？回答者146名 ※数字は人数。複数回答あり

